

(単位:千円)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	前年度比増減	分析・評価
正味財産増減計算書	(一般正味財産増減の部)					(事業収益)
	経常収益	985,392	971,619	1,056,787	85,168	事業収益の増加については、大規模団体検診を受託したことや新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着いたことによるがん予防検診事業の収益の増(63,968千円)が主な要因である。
	基本財産運用益	320	69	69	0	
	特定資産運用益	2,803	2,802	2,804	2	
	受取会費	0	0	0	0	
	事業収益	949,471	956,432	1,038,885	82,453	
	受取補助金等	3,500	5,250	5,000	△ 250	
	受取負担金	314	314	314	0	(事業費)
	受取寄付金	0	217	435	218	事業費の増加については、大規模団体検診を受託したこと等による受診者増に伴う検査委託料の増(12,917千円)、令和3年度は12月期末勤勉手当を50%カットしたが令和4年度は規
	その他の収入(受取利息収入等)	28,984	6,536	9,281	2,745	程どおり支給したことによる期末勤勉手当の増(9,124千円)、循環器病予防事業の地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所への移
	経常費用	994,556	1,021,225	1,079,054	57,829	管による転籍職員の退職金の増(8,764千円)及び電気・ガス料金の値上げによる光熱水費の増(6,239千円)が主な要因である。
	事業費	957,046	982,401	1,041,581	59,180	
	管理費	37,510	38,824	37,473	△ 1,351	
	当期経常増減額	△ 9,165	△ 49,606	△ 22,267	27,339	
	経常外収益	0	163	0	△ 163	
経常外費用	0	0	0	0		
当期経常外増減額	0	163	0	△ 163		
当期一般正味財産増減額	△ 9,165	△ 49,443	△ 22,267	27,176		
(指定正味財産増減の部)						
受取補助金	25,000	0	0	0		
受取寄付金	7	3,966	2	△ 3,964		
一般正味財産への振替額	△ 2,500	△ 5,217	△ 5,435	△ 218		
当期指定正味財産増減額	22,507	△ 1,251	△ 5,433	△ 4,182		
正味財産期末残高	455,913	405,219	377,519	△ 27,700		

※単位未満は四捨五入を原則としたため、内訳の計と合計が一致しない場合がある。